

試合番号 : 117		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 900	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:40		試合時間 : 01:40		主審 : 戸川 太輔	
副審 : 沢田 元		ウルフドッグス名古屋		通算 3勝 1敗 ポイント : 8		大分三好ヴァイセアドラー	
監督コメント		3		25 第1セット 23		0	
相手が昨日の試合から戦術を変えてきたところもあり、厳しい試合となりました。これからは我々ウルフドッグスが目指すバレーボールを全員で追及し、成長し続けたいと思います。本日もホームゲームに意気込みを持って出場して下さった皆様、またメディアを通じて応援してくださった皆様、応援ありがとうございました。来週もここエントリオで我々のホームゲームが開催されます。皆様にお会い出来ることを楽しみにしております。Unite as One!!		25 第2セット 23		25 第3セット 22		はじめて、ウルフドッグス名古屋の良い試合だったと思います。第1、第2セットに関しては、最後の1点が取れず、第3セットに関しては、サーブで崩されセンター攻撃がなくなり、両サイド攻撃になり、相手ブロックにポイントを与える展開になりました。また、試合は続きます。前向きにチーム一丸になり、来週に臨みます。2日間応援ありがとうございました。	
要約レポート		第1セット序盤、大分三好ヴァイセアドラーのサーブと、ブロックにウルフドッグス名古屋は苦しめられた。しかし中盤以降、WD名古屋は近のブロック、小川のデグで流れを掴み、最後も近の2連続ブロックが出てセットを先取した。		第2セット、大分三好はセッター井口によるセンターからの攻撃で、WD名古屋のブロッカーを翻弄した。それに対抗しWD名古屋は新キャプテンのクレクが随所でスパイクを決めるが、終盤まで点差が開かないまま進んでいた。しかし最後はWD名古屋・山崎の活躍でセットを連取した。		第3セット、大分三好は山田のサービスエース、途中出場の古賀のスパイクで流れを掴みかけたが、今シーズンから監督を務めるクリス監督の絶妙なタイミングでのタイムアウトで流れを渡さなかった。それに加え、WD名古屋クレクが4連続でスパイクが決め、ホーム2連勝を勝ち取った。	
試合番号 : 118		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,317	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:26		試合時間 : 01:26		主審 : 富田 博一	
副審 : 澤 達大		パナソニックパンサーズ		通算 3勝 1敗 ポイント : 10		VC長野トライデンツ	
監督コメント		3		25 第1セット 19		0	
昨日よりVC長野のブロック、ディフェンス、サーブが非常に良く、難しい試合でした。タフな試合でしたが最後まで集中して戦ったので、勝利することができたと思います。来週の試合も大事なため、引き続き応援よろしくをお願いします。		25 第2セット 23		25 第3セット 21		このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいているすべての関係者のみなさまに厚くお礼申し上げます。昨日の戦いをふまえて課題を明確にし、本日の試合に臨みましたが、カーブを飛ばさず勝利することができませんでした。この2日間でも課題を修正し、来週の試合に挑みます。引き続きの応援よろしくをお願いします。	
要約レポート		第1セット、中盤まで一進一退の攻防が続く中、パナソニックは大竹、クビアクのスパイクで抜け出すと、仲本のスパイクが決まりセットを先取る。		第2セット、パナソニックは山内やクビアクのブロック、大竹、児玉のスパイクで勢いに乗り得点を重ねる。一方のVC長野は、拾って繋ぐ全員バレーで応戦。笠利や戸嶋にボールを集め終盤3連続得点で1点差まで追いついたが、最後は大竹がスパイクを決め、パナソニックがセットを連取する。		第3セット、VC長野リヴァンは2連続サービスエースやスパイクで4点リードの流れを引き戻す。一方のパナソニックは、要所所で大竹や山内、クビアクがブロックを決め得点を重ね逆転に成功すると、その勢いそのままストレートで勝利した。	
試合番号 : 119		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 1,383	
開始時間 : 16:00		終了時間 : 18:24		試合時間 : 02:24		主審 : 西中野 健	
副審 : 山本 和良		ジェイテクトSTINGS		通算 3勝 1敗 ポイント : 7		FC東京	
監督コメント		3		25 第1セット 17		2	
まずはFC東京の粘り強いプレーをたたえたいと思います。我々も我慢強くプレーしたことをうれしく思っております。いつも応援ありがとうございます。引き続き応援よろしくをお願いします		22 第2セット 25		23 第3セット 25		昨日のゲームから戦術的な修正をし、選手たちが気持ちを持ち替えて戦ったことで、昨日とは違った展開となりました。本来であれば4セット目で勝負を決めなくてはなりませんでしたが、ゲーム終盤にアタックの失点が増えたところを今後改善していきたいです。来週に向けてしっかりと準備をして、勝利を掴み取ります。本日も応援ありがとうございました。	
要約レポート		連勝して勢いに乗りたいジェイテクトSTINGSと初白星を目指すFC東京の一戦。		第1セット、序盤からジェイテクトが4連続得点でリードすると、フェリベのスパイクや久保山のブロックなどでさらにリードを広げ、そのままセットを先取る。		第2セット、終盤まで一進一退の攻防が続く。終盤、FC東京がレシーブで粘りクヴァーレンのスパイクで一歩抜け出すと、そのリードを守り切り、セットを奪い返す。	
		第3セット、好レシーブの応酬で会場は盛り上がりを見せ、両者譲らぬ白熱した展開となる。ジェイテクトはフェリベや藤中の巧みなスパイクで得点を重ねるも、FC東京は長友がバックアタックを要所で決め、セットを連取する。		第4セット、デュースにまでもつれ込み手に汗を握る接戦となるが、ジェイテクトは途中で代わった都築の活躍やフェリベのブロックでタイに戻した。		第5セット、FC東京はクヴァーレンやエスペホのスパイクで得点を重ねリードを奪うも、ジェイテクトが村山のクイックや宮浦のサービスエースなどで4連続得点し逆転に成功する。最後まで食らいつくFC東京を振り切り、見事ジェイテクトが3連勝を飾った。	
試合番号 : 120		試合会場 : 維新大晃アリーナ (維新百年記念公園スポーツ文化センター)				観客数 : 1,100	
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:25		試合時間 : 01:25		主審 : 山本 晋五	
副審 : 弘中 秀治		JTサンダーズ広島		通算 2勝 2敗 ポイント : 7		サントリーサンパーズ	
監督コメント		3		25 第1セット 20		0	
ホームゲームでの勝利を皆様にお見せできたことたいへんうれしく思います。若いチームなので1日1日成長していき、目標を達成したいと思います。今日もたくさんの方のご声援をいただきありがとうございました。JTサンダーズ広島は進化し続けたいと思います。山口大会に関わられたすべての方々に感謝します。ありがとうございます。来週も頑張ります。		25 第2セット 17		25 第3セット 21		本日もサンパーズへのご声援ありがとうございました。サンパーズは現在非常に厳しいバランスの上に保たれていると思います。1つの歯車が狂ってしまえば簡単に崩れてしまいます。この敗戦を良い機会にし、更に成長に生かすことが大事なので、次に進むステップになると思います。長いシーズンの中、多くのことがあるとは思いますが、1つ1つ乗り越えていきます。本日も声援をくださったファンの皆様、本当にありがとうございました。引き続き進化していくサンパーズを宜しくお願いします。	
要約レポート		ホームでの連敗は避けたいJTサンダーズ広島と、このまま勢いに乗りたいサントリーサンパーズとの対戦。		第1セット、序盤からJT広島は小野寺の連続ブロックなどでリードを奪う。サントリーもアラインのスパイクや柳田の連続サービスエースで追いつけるが、JT広島がセットを先取した。		第2セット、序盤から両者譲らぬ攻め合いで試合が進んだ。中盤、JT広島の新井、エドガーの力強いスパイクで流れを掴む。そのまま流れを切らすことなく、セットを連取した。	
		第3セット、引き続き得点し合う展開。中盤、JT広島の前田、金子の体を張ったトスを坂下が決め、そこからリードを広げた。最後にJT広島はエドガーがスパイクを決めて、ストレートで勝利を収めた。					

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。